HIWIN_® No.12 2025年 11月発行

製品の動きが見える"直動製品デモ機"を紹介

〜製品説明だけに留まらない、新人研修にも役立つ展示機〜

ハイウィン株式会社(本社:兵庫県神戸市西区、代表取締役:林育志)は、展示会にて当社の主力製品 である直動製品の動きが一目で分かる展示機を出展しております。本ニュースレターでは、直動製品の動 き方を見せる展示機で、製品説明だけでなく新人研修にも役立つ「直動製品デモ機」を紹介します。



展示会にて当社従業員に直動製品デモ機の説明を行う平田氏

▼直動製品デモ機の概要説明

「直動製品デモ機」は、当社の主要製品である直動機器を、1台の展示機へ集約した総合展示機です。

直動製品デモ機の製品一覧

- ・リニアガイドウェイ ・AC サーボモーター
- ・ボールねじ
- ・波動歯車減速機
- ・ボールスプライン
- ・サポートユニット
- ・単軸ロボット
- ・新世代サーボドライバー
- ・リニアモーター
- ・多軸同期制御コントローラー 等

実際の装置で多用される機械要素部品やメカトロ製品を総合

直動製品デモ機

的に搭載しています。この展示機で当社直動製品が「どこで、どのように使われ、どう動いているのか」 を一目で理解できる構成です。

▼直動製品デモ機の狙いは"動きによる直感的理解"

直動製品デモ機の狙いは、多様な直動要素が どのように連携し、装置を構成しているのか、また 製品の役割とメリットを「動き」として直感的に理 解していただく事です。装置設計担当者や導入検

討中のお客様が「この動きを実現したい」という イメージを掴みやすくなるよう、工夫をしています。 また、複合的な動作をするボールスプラインに ついてはボタンで操作が可能で、その複雑な動き

も体感することができます。

本機は、斜めフレームを採用し全体を俯瞰しやすい構成になっています。「直動製品同士がどのよ

うに連動するのか」が一目で理解でき、営業活動 および技術説明にも活用しやすい展示機です。

▼来場者からは「新人教育にちょうど良い」と思わぬ反応も

製作担当の平田氏によると、展示会場では来場者から「一目で動きが理解できる」や「新人教育にちょうど良い」という反応が毎日2~3件寄せられていたとのこと。実際に関連業界のメーカーの方が新人スタッフを連れ説明する姿も見られました。機械要素製品、メカトロ製品を学ぶ教材としても活躍しています。

展示機はハイエースに積載できるサイズに設計しており、顧客先での社内展示会にも対応可能で

す。現場での製品 説明・装置イメー ジの共有の他に、 顧客先での新業 ないにもないます。



▼製作者の平田氏にインタビュー

以前はボールスプライン単体の展示機がありましたが、直動製品全体の連携を伝えるデモ機の必要性があると考え、動きで伝えられる本展示機を新たに製作しました。この展示機を使用する事で、顧客の「実現したい動き」を引き出しやすくし、実機をみながらの提案が可能です。また装置の構成

イメージを具体化でき、スムーズに進めるための 強力なツールとして活用できます。

今後は当社の製品であるDDモーターなどを新たに搭載し、総合的なソリューションを見て頂ける展示機へ発展させていく予定です。

◆2025 年 展示会出展予定:•12/3-5 機械要素技術展[福岡] •12/17-19 SEMICON JAPAN

▼プロフィール・経歴



平田 宜弘 (ひらた よしひろ)

【東京支店 営業技術部メカトロ課 リーダー】

兵庫県出身 工業高校 を卒業後から当社に入社 するまで、一貫して自動 化業界で試作機の機工設

計や自動機器の治具の設計・製作などを請け負う仕事をしていた。

20 代で突然カナダへ渡航するエネルギッシュな一面もあり。現地では辞書を片手に生活を送っていた。帰国後結婚し、仕事を続ける中、ニュージーランドへ移住を目的に単身渡航し、現地企業で数か月勤務。しかし生活コストや収入面が見合

わないことを実感し、日本での生活を見直す必要性を感じていたタイミングで、子供の体調不良も 重なり帰国を決断。

20年前、お子さんが小学校入学のタイミングで、兵庫県から妻の両親が住む東京へ移住。後年、義両親の介護が必要となり、仕事と介護の両立が困難になったため2021年に前職を退職し介護に専念。その後、前職の同僚の紹介で当社を知り入社。現在はメカトロ課で、これまでの現場で培った設計経験を活かし活躍中。

本件に関するお問合せ先

ハイウィン株式会社 マーケティング企画課 e-mail:kikaku@hiwin.co.jp TEL:078-997-8827(代表)